

美しく安全なまちを目指して 市政施策へ新たな提言

公明党 橋口幸生



▼ラウンドアバウト(円形交差点)
(※)

静岡県焼津市ではラウンドアバウトの社会実験が行われており、人身事故が減ったこととある。本市でも信号機設置要望が多いものなかな順番が回ってこない状況と市民の安全な通行を考え、ラウンドアバウトの社会実験を行ってみる価値はあると考える。このラウンドアバウトの社会実験をまだ余り人が張りついていない柏たなか駅周辺で行ってはいかがが。

▼北部の土地区画整理事業区域の交差点での実証実験については、既に道路法に基づく千葉

沼沿いに、また柏公園や文化会館、中央体育館、柏ふるさと公園に河津桜を植樹し、ソメイヨシノが開花するまでの1カ月間を河津桜で彩ってはいかがが。

▼手賀沼上流4キロメートルに及ぶ大堀川リバーサイドパークでは里親制度により13年前からソメイヨシノ等の桜が植樹され桜の名所となりつつある。これにあわせ、河津桜を沿道沿いに植樹することができれば景観上、また自然観光資源としても非常に魅力的な要素が加わるものと考え。今後手賀沼自然ふれあい緑道を管理する千葉県と植栽の位置や本数、用地の使用許可や河川占用など法的な手続を含めた協議を行い、市民との協働により進めていきたい。

▼市内全体を桜で彩り各小中学校に河津桜を植樹することにより卒業式も桜でお祝いすることができると考えるがいかがが。

▼河津桜は学校の校庭の木としてふさわしい木であると考え。植樹に適したスペースが学校にあるか、また卒業記念樹や周年行事記念樹などの木々が植わっている学校もあるので、全校一斉に一律に河津桜を植えるというのは難しいかもしれないが、都市部とも協議し、可能性

▼ホットスポットの本市。小さい子どもを持つ親の不安を取り除くためにも甲狀腺エコー検査を実施すべきではないか。

▼現状低線量被曝による健康への影響は明らかでない。国の責任で行うべき。国へ要請する。

▼近隣センターに移行すると合併協定書による説明が各団体になされている。どうなのか。今後意見も聞き、進める。

▼中心市街地活性化計画
2期計画の方針は、アクセス向上のため民間駐輪場の整備補助や駐輪・駐車場情報検索

▼携帯端末システムを検討すべき。今後切れない活性化策を実施する。駐輪場は民間事業者が参入しやすい環境を具体的に

▼子どもたちの未来のために
教育と医療の更なる充実を求める

▼未来会議
柏 海老原久恵

▼外部監査の報告書で、ごみ焼却施設が過大であることが指摘されている。2012年度は当初見込みの79.5%しかごみがなかった。ごみ量予測が過大であることは建設当初から指摘されていたが、なぜごみ量予測に失敗したのか。

▼監査人と同じ認識だが、数値の乖離については予測困難な要因により生じたものだと考えている。リーマンショックなどもあり、2008年ごろからごみ量の減少傾向が顕著になった。

▼市長の自然保護への姿勢
市長の自然保護への姿勢及び課題認識はどうか。

▼具体的には、自然環境保全の重要性を考えるとかけつくりにつながる施策の実施が重要だと考える。

▼までの全世帯に助成するべき。県に準じたやり方である。

▼学童保育長期休業中の利用希望に対応し受け入れ拡大・開所時間の30分繰り上げ実施を。

▼利用者の動向を見きわめ、受け入れ態勢の確保に努める。

▼利用しやすい病児・病後児保育サービスの整備を検討せよ。

▼立地や利用条件の改善を検討する。また、市立柏病院の建てかえに合わせ併設を検討する。

▼市立病院分院設置を南部へ。内科系外来分院を検討する。

▼旧水戸街道歩道の切り下げ解消、フラット化の検討状況は。新年度予算に所要額を計上。



現在の大堀川沿いの桜並木

▼26年度予算
予算編成の基本的な考え方は。

▼将来の本市のために取り組むべきことと健全な財政運営の両面を意識しながら編成した。安定的な行政サービスを提供しながら、中長期的な視点に立つて新たな財政需要に的確に対応できる持続可能な財政基盤を確立していくことが重要と考え、健全財政を意識しながらこれまでのまちづくりを着実に進めるとともに、定住の促進や交流人口の増加など、さまざまな主体に本市を選択してもらうことで市の発展に結びつく事業に限られた財源を適切に配分した。

▼消費税率の引き上げによる歳入歳出の影響は。また本市でも地方消費税交付金の増を見込んでいるが具体的にどのような社会保障の充実が図られたのか。

▼本市では500を超える公共施設を抱えているが、施設の保全や更新、財源措置などについてどのように考えているのか。

▼公共施設の保全工事及び更新には多くの財源を必要とする。ことから公共施設整備基金を設置し、保全計画を取りまとめ必要な財源の把握を行うと考えるが当面は毎年の収支の中で可能な限り積み立てを行っていく。

▼市民参加の特定のテーマについてはそれぞれのやり方があるので、今後検討したい。

▼市民参加の特定のテーマについてはそれぞれのやり方があるので、今後検討したい。

▼観光基本計画策定には市民参加が必要ではないか。

▼今回の計画策定は年度内に完了する必要がある、ワークショップなどは行っていない。

▼本市には現在、観光や文化交流施設などの市政課題があるが、市民参加を進めるべきと考えるがどうか。

▼市民参加の特定のテーマについてはそれぞれのやり方があるので、今後検討したい。

▼観光基本計画策定には市民参加が必要ではないか。

▼今回の計画策定は年度内に完了する必要がある、ワークショップなどは行っていない。

▼本市には現在、観光や文化交流施設などの市政課題があるが、市民参加を進めるべきと考えるがどうか。

▼外部監査の報告書で、ごみ焼却施設が過大であることが指摘されている。2012年度は当初見込みの79.5%しかごみがなかった。ごみ量予測が過大であることは建設当初から指摘されていたが、なぜごみ量予測に失敗したのか。

▼監査人と同じ認識だが、数値の乖離については予測困難な要因により生じたものだと考えている。リーマンショックなどもあり、2008年ごろからごみ量の減少傾向が顕著になった。

▼市長の自然保護への姿勢
市長の自然保護への姿勢及び課題認識はどうか。

▼具体的には、自然環境保全の重要性を考えるとかけつくりにつながる施策の実施が重要だと考える。

市民参加で市政運営すべき 計画の策定段階から市民参加を

市民サイド 松本寛道



▼市民参加
市民とひざを突き合わせて話し合い、市民とともに市政を形づくっていくとすると市長の姿勢は現在ではどうなったのか。

▼状況に応じ、適切な形で市民の皆様の御意見を市政に反映していく姿勢に変わりはない。

▼観光基本計画策定には市民参加が必要ではないか。

▼今回の計画策定は年度内に完了する必要がある、ワークショップなどは行っていない。

▼本市には現在、観光や文化交流施設などの市政課題があるが、市民参加を進めるべきと考えるがどうか。

▼市民参加の特定のテーマについてはそれぞれのやり方があるので、今後検討したい。

▼観光基本計画策定には市民参加が必要ではないか。

▼今回の計画策定は年度内に完了する必要がある、ワークショップなどは行っていない。

▼本市には現在、観光や文化交流施設などの市政課題があるが、市民参加を進めるべきと考えるがどうか。

▼外部監査の報告書で、ごみ焼却施設が過大であることが指摘されている。2012年度は当初見込みの79.5%しかごみがなかった。ごみ量予測が過大であることは建設当初から指摘されていたが、なぜごみ量予測に失敗したのか。

▼監査人と同じ認識だが、数値の乖離については予測困難な要因により生じたものだと考えている。リーマンショックなどもあり、2008年ごろからごみ量の減少傾向が顕著になった。

▼市長の自然保護への姿勢
市長の自然保護への姿勢及び課題認識はどうか。

▼具体的には、自然環境保全の重要性を考えるとかけつくりにつながる施策の実施が重要だと考える。

▼までの全世帯に助成するべき。県に準じたやり方である。

▼学童保育長期休業中の利用希望に対応し受け入れ拡大・開所時間の30分繰り上げ実施を。

▼利用者の動向を見きわめ、受け入れ態勢の確保に努める。

▼利用しやすい病児・病後児保育サービスの整備を検討せよ。

▼立地や利用条件の改善を検討する。また、市立柏病院の建てかえに合わせ併設を検討する。

▼市立病院分院設置を南部へ。内科系外来分院を検討する。

▼旧水戸街道歩道の切り下げ解消、フラット化の検討状況は。新年度予算に所要額を計上。

新年度予算編成



市長の政治姿勢を問う
護憲市民会議 本池奈美枝

▼財源確保と重点施策
新たな財源確保とは何か。

▼重点施策で保育士確保支援事業とは。また子ども医療費扶助が

▼中学3年までとしながら所得制限を設け窓口負担を100円アップするのは子育て支援を重点施策とすることに反するのでは。

▼歳入確保の取り組みで収納率を前年度よりアップさせ、受益者負担の適正化により財源確保し、さらに未利用地の積極的活用と売却により財源確保する。医療費助成の完全無料には年額約5億必要。県の事業に準じ窓

▼放射能対策
市では月例で行う経営管理本部議と不定期で行う経営管理本部がある。情報公開の必要性は十分認識しているが考えていない。

▼市役所
市役所は月例で行う経営管理本部議と不定期で行う経営管理本部がある。情報公開の必要性は十分認識しているが考えていない。

▼沼南公民館
近隣センターに移行すると合併協定書による説明が各団体になされている。どうなのか。今後意見も聞き、進める。

▼中心市街地活性化計画
2期計画の方針は、アクセス向上のため民間駐輪場の整備補助や駐輪・駐車場情報検索

▼携帯端末システムを検討すべき。今後切れない活性化策を実施する。駐輪場は民間事業者が参入しやすい環境を具体的に

▼子どもたちの未来のために
教育と医療の更なる充実を求める

▼未来会議
柏 海老原久恵

▼外部監査の報告書で、ごみ焼却施設が過大であることが指摘されている。2012年度は当初見込みの79.5%しかごみがなかった。ごみ量予測が過大であることは建設当初から指摘されていたが、なぜごみ量予測に失敗したのか。

▼監査人と同じ認識だが、数値の乖離については予測困難な要因により生じたものだと考えている。リーマンショックなどもあり、2008年ごろからごみ量の減少傾向が顕著になった。

▼市長の自然保護への姿勢
市長の自然保護への姿勢及び課題認識はどうか。

※ラウンドアバウト(円形交差点) = 交差点の中心部に円形の中央島が設けられた円形交差点の一種。車両は中央島のまわりの環状道路(環道)を時計回り(右回り)の一方通行で走行し、信号機や一時停止の規制を受けない道路。環状道路を通行する車両の走行が優先される。